

あけましておめでとうございます。みなさんはどのような新年を迎えられましたか？今年も30年続いた「平成」が終わり、新しい元号になりますね。新しい時代の幕開けとなる年、平和で明るく楽しい一年になりますように……。ねっ。

■第3回県民人権講座に当センターから出展をしました！



長野県からはるばるの長旅に疲れて、ちょっとオネムの聴導犬をパチリ！

去る11月24日(土)に三重県人権センターで、『第3回県民人権講座～聴覚障がい者と聴導犬についての理解を深めるために～』が開催されました。

東日本大震災で被災した聴覚障害者に2年余も取材した映画「架け橋 きこえなかった3.11」の上映や、三重県聴覚障害者協会会長の深川誠子さん、三重県難聴・中途失聴者協会副会長の日間賀恵子さんの講演が行われました。

聴導犬のデモンストレーションの体験や展示等がロビーで行われ、当センターからもパネル展示(日常生活用具、聴覚障がい者スポーツの紹介)やミニ筆談ボード作り体験等、出展しました。

当日は暖かい日だったこともあってか、参加者は200名近くに上ったそうです。高校生も引率の先生に連れられて、参加されていました。

聴導犬のデモンストレーションは満員状態でしたが、ミニ筆談ボード作成体験もたくさん来ていただきました。

日常生活用具も、インターホンや目ざまし時計の音をフラッシュの光で知らせしてくれる機器に、関心を持たれた方が多かったようです。

年配になるとどうしても聴力が衰えてくるので、光で知らせしてくれる機器は、高齢者の方にも役に立つことでしょう。

県民の皆さまに「聴覚障害」や「災害時に聞こえないことで困ること」について知っていただけの良いきっかけになった1日でした。



上…センター展示ブースの様子
左…ミニ筆談ボード作成体験の様子

日時：1月19日(土)9:45～12:30

※受付 9:30～

場所：三重県社会福祉会館 3階講堂

テーマ：からだところどころのストレッチ

講師：井手政子さん(ヘルスケア・トレーナー)

対象者：手話通訳者、要約筆記者、盲ろう者通訳・介助員、一般、行政職員、その他

持ち物：水もしくはお茶

フェイスタオル

バスタオルもしくはヨガマット

※手話通訳、要約筆記、ヒアリンググループあり

■平成30年度健康管理学習会のお知らせ

年明け早々、寒さで体がちぢこまっていますか？

みんなでストレッチ！

気持ちよく体を伸ばして、心も身体もスッキリしましょう。

詳細はセンターHPまたはセンターまでお問い合わせください。



三重県聴覚障害者支援センター

三重 聴覚



〒514-0003 三重県津市桜橋2丁目131 三重県社会福祉会館5階 FAX(059)223-3301/TEL(059)223-3302

http://www.deaf-mie-center.com/ e-mail: deaf.mie-center@vivid.ocn.ne.jp

□利用時間 午前8時30分～午後5時 □休館日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始

字幕映像ライブ러리 NEWS

お正月、学生時代の旧友から届いた年賀状を読むと、懐かしくたまらない気持ちになっちゃいますね。思春期の恋や進路に悩み、友人とやり取りに一喜一憂した繊細な心の変化を思い出してしまいます。今回は、学生時代に戻ったような気持ちになる映画を紹介します。ぜひ、ごらんください。

なお、「借りたいけど、なかなかセンターに行くヒマがない～」とお嘆きのアナタ、大丈夫です。郵送で貸出や返却ができるんです。詳しくは当センターホームページで！



■今回のイチオシ作品 はこれです！『耳をすませば』



柘あおいの同名少女コミックをスタジオジブリがアニメ化した作品です。

読書好きな中学生3年生の少女・月島雫は、図書館で借りてくる本の貸し出しカードの多くに「天沢聖司」という名前があるのを見つける。それ以来、顔も知らない天沢聖司の存在が気になっていた。

夏休みのある日、図書館に向かう途中で遭遇した一匹のネコに導かれ、雫は「地球屋」という不思議な雑貨店に迷い込んでしまう。

やがて店主の孫の少年が天沢聖司であることを知り、2人は徐々に接近し惹かれ合うようになった。

しかしバイオリン職人を目指す聖司は、中学を卒業したらイタリアへ渡ると決めており、雫は自分も本を読むばかりではなく、自らも物語を生みだそうと決意するが・・・。

■センター登録団体の行事のお知らせです！（三重県聴覚障害者協会）

■三聴障協 2018 年度福祉フォーラム

日 時：2019年1月13日（日）13:00～15:00

場 所：アスト津 3F イベント情報コーナー

演 題：「教育の現場で思うこと ～ろう生徒主体の演劇指導を通じて～」

●ろう学校卒業した私がろう学校教諭になって

●生徒主体の演劇とは・・・ 最近のろう生徒の話

講 師：鈴木博司氏（岐阜ろう学校教諭）

参加費：500円（先着順50名）

お申込み・お問い合わせ：

一般社団法人三重県聴覚障害者協会

F A X：059-223-4330

e-mail：deaf.mie@viola.ocn.ne.jp

T E L：059-229-8540

講師（ろう教諭）
岐阜県立岐阜養学校
教諭 鈴木博司 先生

三重県聴覚障害者協会
福祉フォーラム

教育の現場で思うこと
～ろう生徒主体の演劇指導を通じて～

～ろう生徒主体の演劇指導を通じて～
近年のろう学校の教育ではありません。演劇指導は行われてきたが、その指導がどのような内容で、どのような方法で行われてきたのかを考えた内容です。それを聴き、皆様と共に考えてみたい演劇を通して話します。

日時 1月13日（日）
13:00～15:00

先着 50名
参加費500円

場所 アスト津3階 みえ市民活動ボランティアセンター
津駅東出口（JR駅）を出てすぐ左隣のアスト津3階です

ろう学校卒業した私がろう学校教諭になって
私が経験したろう学校生活の中でろうの教育と生徒と
生徒主体の演劇とは・・・ 最近のろう生徒の話
生徒だけが考えた演劇には感動しました。（見学者より）

三重県聴覚障害者協会
〒514-0000 三重県津市津二丁目151
FAX 059-223-4330
TEL 059-229-8540